

科目名	オランダ・インホランド大学との合同ワークショップ 〔（専門科目）Lectures on Global Communication〕
開講区分	集中
担当教員	村尾 元
使用言語	英語
授業のテーマ	本講義は実践的な国際共修プロジェクトを通じて、異文化理解とコミュニケーションの手法を涵養を目標とする。
授業の到達目標	本科目を履修することで、学生は次のような能力を身につけることができる ・異文化に対する理解。 ・文化横断的な共同作業における、対面およびオンラインの効果的なコミュニケーション戦略。加えて、データ分析と創造的なアイデアの創出法について学ぶことができる。
授業の概要と計画	本授業の履修生は、インホランド応用科学大学の学生と4, 5人のチームを組み、作業を行う。チームの目的は日本とオランダの商品やサービス、考え方など文化的な資源を、相手の国に紹介することである。その為の効果的な手法について考える。授業は大きく、前期のオンラインパートと後期の対面パートに分かれる。 オンラインパート（前期） 第1週（6月11日(水) 17:00-18:30(予定・オンライン))：コースの紹介、異文化コミュニケーションに関する講義、チームごとのトピック選択。 第2週（6月上旬）：チームごとに、トピックに関する調査結果をオンラインで報告。 第3週（6月下旬）：第2週の報告に対するフィードバックに基づき、これまでの進捗報告と、タスクリスト、その計画について報告を行う。 第4週（10月初旬）：対面作業の確認と準備。（このセッションのみ後期） 対面パート（後期）（10月14日に最初の対面での顔合わせを行う予定。） 第5・6週（10月15日）：資料の作成とプレゼンテーションの準備。 第7・8週（10月16日）：プレゼンテーションと相互評価。 ※計画は予定で、日程も変わる可能性があります。
評価方法	評価は最終週に行うプレゼンテーションと、その後に課す1,000～1,500語の英文レポートによって行う。
評価基準	評価は以下の観点から行う： - プレゼンテーションとレポートは自分のチームが対象としたオランダと日本の商品やサービスなどについての理解が反映されているか。 - レポートでは、議論や、分析で用いた手法について、明確かつ論理的に説明されているか。
履修上の注意	オンラインパートでは、オランダのチームメイトとビデオ会議で相談することになります。安定してビデオ会議を行う能力を有するPCと、ビデオ会議を自宅で行う場合には、自宅に安定したインターネット接続が必要です。不安な場合はあらかじめ担当教員に申し出てください。
事前・事後学修	資料の準備やそれらの検討、プレゼンテーションの完成などを授業時間中に行うだけでは十分ではない。深い理解を得るためには、授業時間外に個別に作業することが必要である。 ※この授業で用意されている講義や演習時間は合計12時間です。従って、それ以外の時間に授業の準備や復習を行うことが求められます。
連絡先	履修者にはグループワークソフトウェア（Microsoft TeamsまたはSlackまたはDiscord）のメンバーになっていただき、そちらでテキストまたはビデオ会議による相談を受け付けます。対面での相談が必要な場合はグループワーク上のダイレクトメッセージまたはLINEや電子メールで予約してください。

教科書	必要な文献や資料等についてはBEEF+上で配布します。
参考書・参考資料等	必要に応じて授業中に指定します。